

分類	2-04	教科名	理科	科目名	科学と人間生活		
対象学科 (コース)	全学科			学 年	2	単位数	2
指 導 目 標	自然の事物・現象に関する観察、実験や自然環境についての調査などを通して、自然に対する総合的な見方や考え方を養うとともに、現代の科学技術と人間生活の関わりについて理解を深めることを目標とする。						
内 容	材料とその再利用, 衣料と食品, 光の性質とその利用, 熱の性質とその利用, 身近な天体と太陽系における地球, 身近な自然景観と自然災害						
内容の取扱い	教科書の内容を理解する。さらに必要かつ効果的な実験・観察を実施し、レポートを作成しながら理解を補っていく。必要に応じて小テストを行う。						
指 導 計 画	学 期	指 導 事 項	指 導 内 容			予定時間	
	1 学 期 4 ~ 6 月	・材料とその再利用 ・衣料と食品	・身の回りにある金属やプラスチック等の性質を理解させ、再利用法も考えさせる。 ・繊維の性質を理解させ、その利用法を考えさせる。 ・食品の主成分とその性質を理解させる。			2 6	
	2 学 期 7 ~ 11 月	・光の性質とその利用 ・熱の性質とその利用	・見える光と見えない光についてその性質を理解させる。また、反射や干渉・屈折等についても理解させ、その利用法も考えさせる。 ・熱の伝わり方や温度について理解させる。 ・熱が人間生活にどのように関わっているか理解させる。			3 0	
	3 学 期 12 ~ 3 月	・身近な天体と太陽系における地球 ・身近な自然景観と自然災害	・太陽とその周りを公転している惑星についてその特徴を理解させる。 ・地球や太陽がつくる自然景観の成り立ちについて理解させる。 ・地震発生の仕組みと災害について考えさせる。			1 4	
教科書・副教材他	東京書籍「科学と人間生活」						

評 価 規 準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重
講 義	◎	○		○	
実 験 ・ 観 察	◎	○	○		
定 期 考 査		○		◎	